



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日

上場会社名 ローム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6963 URL <https://www.rohm.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 CEO (氏名) 松本 功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 CFO (氏名) 伊野 和英 TEL 075-311-2121
 四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	355,126	△9.0	40,649	△46.1	60,118	△33.6	45,102	△33.6
2023年3月期第3四半期	390,158	15.4	75,414	34.2	90,528	46.5	67,947	40.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 63,703百万円 (△14.9%) 2023年3月期第3四半期 74,880百万円 (22.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	115.77	112.08
2023年3月期第3四半期	173.09	167.79

(注) 当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,423,004	939,743	66.0
2023年3月期	1,123,283	915,465	81.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 939,147百万円 2023年3月期 914,912百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2024年3月期	—	100.00	—		
2024年3月期(予想)				25.00	—

(注)1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。2024年3月期の1株当たり配当予想につきましては、第2四半期末は分割前、期末は分割後の金額を記載しております。年間の配当予想につきましては、株式分割の実施により単純合計ができないため、表示しておりません。なお、株式分割前ベースでの年間配当金は1株当たり200円00銭であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	470,000	△7.5	44,000	△52.3	64,000	△41.6	48,000	△40.3	123.47

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の1株当たり当期純利益は分割後の数値を記載しております。

※ 注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信【添付資料】9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	412,000,000 株	2023年3月期	412,000,000 株
2024年3月期3Q	26,058,814 株	2023年3月期	19,429,112 株
2024年3月期3Q	389,596,951 株	2023年3月期3Q	392,565,019 株

(注)当社は、2023年10月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算発表補足資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(四半期連結損益計算書)	7
(四半期連結包括利益計算書)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

※ 補足説明資料としまして、「2024年3月期 第3四半期決算概要」を別途添付しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

業績の全般的概況

当第3四半期連結累計期間における世界情勢は、米欧の中央銀行による金融引き締めや、中国の不動産市場の低迷、中東情勢の不安定化を背景とした景気の減速懸念があり、不透明感が継続しております。

エレクトロニクス業界におきましては、自動車市場では電動化・電装化の進展による台当たりの電子部品搭載数の増加に加え、半導体調達環境の改善に伴う自動車生産台数の緩やかな回復が見られましたが、自動車関連部品の在庫調整により伸びが鈍化しました。産業機器市場では金利上昇や景気減速懸念を受けた設備投資への慎重姿勢が見られ、調整局面となりました。民生機器市場、通信機器市場及びコンピュータ&ストレージ市場は需要の低迷が継続しました。

このような経営環境の中、中長期的に成長が期待される自動車市場や産業機器市場などに向けてロームグループが強みを持つパワー・アナログの新製品・新技術の開発を進め、お客様の省エネ・小型化に広く貢献できるトータルソリューションでの提案を推進しました。

生産面においても、継続して全社最適化を進めるとともに、「モノづくり改革」による省人化・自動化ラインの構築を推し進めました。また、一部の汎用品で生産調整を行うものの、SiCをはじめとするパワーデバイスの更なる受注に対応するための生産能力増強や生産性向上を進めるなど、お客様への安定供給体制の向上に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、注力市場である自動車市場において増加したものの、産業機器市場を含む他市場においては前年を下回る結果となり、前年同期比9.0%減の3,551億2千6百万円、営業利益は前年同期比46.1%減の406億4千9百万円となりました。当第3四半期連結累計期間の営業利益率は前第3四半期連結累計期間の19.3%から11.4%に低下しました。

経常利益につきましては、営業利益及び為替差益が減少した一方、受取手数料の増加により、前年同期比33.6%減の601億1千8百万円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比33.6%減の451億2百万円となりました。

またロームグループで重視している経営指標について、当第3四半期連結累計期間のEBITDA（※）は前年同期比20.6%減の915億1千1百万円となりました。

※ EBITDA (Earnings Before Interest, Taxes, Depreciation and Amortization)

税引前利益に支払利息、減価償却費を加えて求めたもの。グローバル企業などの収益力を比較する際によく利用される指標。ロームグループでは簡易的に営業利益に減価償却費を加えて算出しております。

業績のセグメント別概況

<LSI>

市場別では、自動車市場につきましては、電動車（xEV）の普及加速に伴いパワートレイン向け絶縁ゲートドライバICが順調に伸びたことに加え、車載LEDドライバICや高性能半導体パワースイッチIPDなどの他の高付加価値商品も堅調に推移しました。一方で、民生機器市場では、省エネ性能エアコン向けモータドライバが好調だったものの、AV機器や白物家電向けを中心に減少しました。また、コンピュータ&ストレージ市場向けではPC関連やSSD向けの電源ICやFANモータドライバICなどの売上が落ち込みました。産業機器市場及び通信機器市場においても厳しい状況となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,585億3千4百万円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益は178億5千9百万円（前年同期比55.5%減）となりました。

<半導体素子>

事業セグメント別では、トランジスタ、ダイオード、パワーデバイスにつきましては、自動車市場のx E V向けを中心に好調に推移しましたが、産業機器市場、民生機器市場及びコンピュータ&ストレージ市場では依然として厳しい状況となりました。また、発光ダイオード、半導体レーザーにつきましては、民生機器市場を中心に低迷しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,516億3千5百万円（前年同期比7.2%減）、セグメント利益は145億4千6百万円（前年同期比48.4%減）となりました。

<モジュール>

事業セグメント別では、プリントヘッドにつきましては、決済端末向けを中心に売上が減少し、オプティカル・モジュールにつきましては、スマートフォン向けでセンサモジュールの売上が増加しました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は255億7千5百万円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益は20億9千4百万円（前年同期比47.8%減）となりました。

<その他>

事業セグメント別では、抵抗器につきましては、自動車市場向けに高電力抵抗・シャント抵抗等の高信頼品は順調に推移しましたが、産業機器市場向けなどの売上が落ち込みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は193億8千万円（前年同期比10.4%減）、セグメント利益は16億8千万円（前年同期比59.6%減）となりました。

上記「業績のセグメント別概況」の記載は、外部顧客に対するものであります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ2,997億2千1百万円増加し、1兆4,230億4百万円となりました。主な要因といたしましては、投資有価証券が2,961億5千3百万円、有形固定資産が675億4千万円、棚卸資産が221億9千2百万円、それぞれ増加した一方、現金及び預金が520億5千5百万円、有価証券が315億1千1百万円、それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,754億4千4百万円増加し、4,832億6千1百万円となりました。主な要因といたしましては、短期借入金が3,000億円、繰延税金負債が46億3千9百万円、固定負債のその他が21億9千7百万円（うち長期未払金が20億7千2百万円）、それぞれ増加した一方、未払法人税等が161億8千3百万円、未払金が104億5千万円、それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ242億7千8百万円増加し、9,397億4千3百万円となりました。主な要因といたしましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が256億3千9百万円、為替換算調整勘定が201億6千6百万円、それぞれ増加した一方、自己株式の取得により199億7千6百万円減少したことによるものであります。

これらの結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.4%から66.0%に低下しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、地政学リスクへの警戒、世界的なインフレーションによる金利上昇、加えて不安定な為替相場などにより、依然として先行きが不透明となっております。エレクトロニクス市場においては、気候変動対策や脱炭素化社会に向けた省エネルギー化の一層の促進に加えて、各国における工場の自動化・デジタル化投資などが順調に推移するものと思われまます。第3四半期決算日現在においては、S i Cパワー半導体などの主力製品は堅調に推移しました。注力の自動車市場におきましては自動車生産が回復基調ということもあり、毎四半期の売上は増加し続けておりますが、想定を超える自動車関連部品の在庫調整もあって、年間成長は限定的となる見込みです。また産業機器市場及びコンピュータ&ストレージ市場においても在庫調整と需要低迷が長引いております。これを受けてロームグループでは、経費を抑制するなどコスト削減に努めております。結果として、通期の業績は2023年11月1日に公表した連結業績予想を下回る見通しです。一方でロームグループが目指すグローバルメジャーへの成長を実現するには、パワー・アナログ製品の生産能力を遅滞なく増強する必要があります。したがって、今期の設備投資につきましては足元の業況にとらわれることなく、期初の計画を変更せずに全ういたします。

以上のような状況を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおり修正いたします。

<連結業績予想>

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比増減率
売 上 高	5,078億円	4,700億円	△7.5%
営 業 利 益	923億円	440億円	△52.3%
経 常 利 益	1,095億円	640億円	△41.6%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	803億円	480億円	△40.3%

<セグメント別連結売上高予想>

	2023年3月期 実績	2024年3月期 予想	前期比増減率
L S I	2,337億円	2,085億円	△10.8%
半 導 体 素 子	2,122億円	2,030億円	△4.3%
モ ジ ュ ー ル	343億円	328億円	△4.3%
そ の 他	276億円	255億円	△7.4%

第4四半期の為替レートは、1米ドル=140円を前提としております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	291,154	239,099
受取手形及び売掛金	100,472	89,305
電子記録債権	9,277	7,374
有価証券	38,093	6,582
商品及び製品	53,779	56,557
仕掛品	79,646	89,050
原材料及び貯蔵品	62,059	72,069
未収還付法人税等	1,884	4,619
その他	17,669	19,758
貸倒引当金	△56	△71
流動資産合計	653,979	584,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	307,833	330,712
機械装置及び運搬具	745,760	821,994
工具、器具及び備品	61,333	64,894
土地	68,285	72,695
建設仮勘定	59,279	78,545
その他	8,780	9,071
減価償却累計額	△887,501	△946,602
有形固定資産合計	363,771	431,311
無形固定資産		
のれん	497	273
その他	5,225	8,316
無形固定資産合計	5,722	8,589
投資その他の資産		
投資有価証券	76,976	373,129
退職給付に係る資産	1,875	1,966
繰延税金資産	7,663	8,326
その他	13,788	15,958
貸倒引当金	△494	△627
投資その他の資産合計	99,810	398,755
固定資産合計	469,303	838,656
資産合計	1,123,283	1,423,004

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,157	16,289
電子記録債務	4,112	3,680
未払金	54,086	43,636
未払法人税等	21,353	5,170
短期借入金	—	300,000
1年内償還予定の社債	—	40,185
その他	36,196	31,094
流動負債合計	131,907	440,057
固定負債		
社債	40,336	—
繰延税金負債	22,539	27,178
退職給付に係る負債	10,819	11,612
その他	2,215	4,412
固定負債合計	75,910	43,203
負債合計	207,817	483,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	86,969	86,969
資本剰余金	102,416	102,433
利益剰余金	721,151	746,790
自己株式	△39,880	△59,856
株主資本合計	870,656	876,336
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,007	32,231
為替換算調整勘定	12,149	32,315
退職給付に係る調整累計額	△1,901	△1,736
その他の包括利益累計額合計	44,256	62,811
非支配株主持分	552	595
純資産合計	915,465	939,743
負債純資産合計	1,123,283	1,423,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	390,158	355,126
売上原価	240,747	239,841
売上総利益	149,411	115,284
販売費及び一般管理費	73,996	74,634
営業利益	75,414	40,649
営業外収益		
受取利息	2,206	4,291
受取配当金	922	863
為替差益	11,041	7,928
受取手数料	—	6,000
その他	1,089	737
営業外収益合計	15,259	19,821
営業外費用		
支払利息	100	290
投資事業組合運用損	23	43
和解金	15	—
その他	5	18
営業外費用合計	146	352
経常利益	90,528	60,118
特別利益		
固定資産売却益	1,281	4,021
特別利益合計	1,281	4,021
特別損失		
固定資産売却損	18	27
固定資産廃棄損	177	300
減損損失	8	54
投資有価証券評価損	318	14
特別損失合計	522	396
税金等調整前四半期純利益	91,286	63,743
法人税、住民税及び事業税	23,527	13,533
法人税等調整額	△208	5,079
法人税等合計	23,319	18,612
四半期純利益	67,967	45,130
非支配株主に帰属する四半期純利益	19	28
親会社株主に帰属する四半期純利益	67,947	45,102

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）
四半期純利益	67,967	45,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,225	△1,776
為替換算調整勘定	15,787	20,183
退職給付に係る調整額	351	165
その他の包括利益合計	6,913	18,572
四半期包括利益	74,880	63,703
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,856	63,657
非支配株主に係る四半期包括利益	24	45

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は2022年11月1日開催の取締役会決議に基づき、自己株式6,641,200株の取得を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において自己株式が19,999百万円増加しております。

なお、当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。上記の株式数については、当該株式分割後の株式数を記載しております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

当社及び国内連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

（税金費用の計算方法の変更）

従来、当社及び国内連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び国内連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（セグメント情報）

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュール	計				
売上高								
国内	62,229	43,825	6,121	112,175	3,369	115,545	—	115,545
アジア	101,477	90,493	17,054	209,025	12,457	221,483	—	221,483
アメリカ	8,423	8,742	1,201	18,367	3,415	21,782	—	21,782
ヨーロッパ	6,448	20,331	2,187	28,967	2,379	31,346	—	31,346
顧客との契約から 生じる収益	178,578	163,392	26,565	368,536	21,621	390,158	—	390,158
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	178,578	163,392	26,565	368,536	21,621	390,158	—	390,158
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,168	2,653	—	4,821	31	4,852	△4,852	—
計	180,746	166,046	26,565	373,358	21,652	395,011	△4,852	390,158
セグメント利益	40,132	28,196	4,016	72,344	4,159	76,504	△1,090	75,414

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業、タンタルコンデンサ事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,090百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△813百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）△276百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	L S I	半導体 素子	モジュー ル	計				
売上高								
国内	63,420	42,989	5,689	112,099	2,930	115,030	—	115,030
アジア	81,301	78,935	16,673	176,910	9,367	186,277	—	186,277
アメリカ	7,765	8,436	1,152	17,354	4,436	21,790	—	21,790
ヨーロッパ	6,046	21,273	2,061	29,381	2,646	32,027	—	32,027
顧客との契約から 生じる収益	158,534	151,635	25,575	335,745	19,380	355,126	—	355,126
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	158,534	151,635	25,575	335,745	19,380	355,126	—	355,126
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,309	3,238	35	4,582	48	4,631	△4,631	—
計	159,843	154,873	25,611	340,328	19,428	359,757	△4,631	355,126
セグメント利益	17,859	14,546	2,094	34,501	1,680	36,181	4,467	40,649

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、抵抗器事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4,467百万円には、主にセグメントに帰属しない一般管理費△66百万円、セグメントには配賦しない決算調整額（退職給付費用の調整額等）4,534百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

ローム株式会社 2024年3月期 第3四半期決算概要
(2023年4月1日から2023年12月31日まで)

2024年2月1日

連結業績

(百万円未満切捨て、その他は単位未満四捨五入)

	24/3期実績 第3四半期 累計期間	23/3期実績 第3四半期 累計期間	対前年同期増減		23/3期実績 通期	24/3期計画 通期	(注)1 対前期 増減率		
			額	率					
売上高	355,126	390,158	-35,032	-9.0%	507,882	470,000	-7.5%		
売上原価	239,841	240,747	-906	-0.4%	314,220	322,200			
販売費及び一般管理費	74,634	73,996	+638	+0.9%	101,344	103,800			
営業利益	40,649 (11.4%)	75,414 (19.3%)	-34,765 (-7.9%)	-46.1%	92,316 (18.2%)	44,000 (9.4%)	-52.3%		
経常利益	60,118 (16.9%)	90,528 (23.2%)	-30,410 (-6.3%)	-33.6%	109,530 (21.6%)	64,000 (13.6%)	-41.6%		
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	45,102 (12.7%)	67,947 (17.4%)	-22,845 (-4.7%)	-33.6%	80,375 (15.8%)	48,000 (10.2%)	-40.3%		
()内は売上高比率									
1株当たり四半期 (当期)純利益	115.77	173.09	-57.32	-33.1%	204.66	123.47			
自己資本当期純利益率					9.2				
総資産当期純利益率					7.5				
1株当たり純資産	2,433.40	2,277.56	+155.84	+6.8%	2,330.49				
E B I T D A	91,511	115,299	-23,788	-20.6%	148,456	117,400	-20.9%		
設備投資額	114,524	78,733	+35,791	+45.5%	126,116	160,000	+26.9%		
減価償却額	50,862	39,885	+10,977	+27.5%	56,140	73,400	+30.7%		
研究開発費	32,567	30,856	+1,711	+5.5%	42,560	44,500	+4.6%		
為替差損益	(益)7,928	(益)11,041	(損)3,113		(益)11,387				
グループ従業員数	23,751	23,965	-214	-0.9%	23,754				
為替レート(US\$期中平均レート) 円/US\$	142.76	135.40	+7.36	+5.4%	134.95	142.12			

(注) 1. 計画値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期(当期)純利益」及び「1株当たり純資産」を算定しております。
3. 営業利益に減価償却費を加えて算出してあります。